

平成28年3月期 第3四半期 決算概要

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

平成27年3月期からの変動要因

- ✓ 平成27年4月、「総合システムサービス」を存続会社として「DTS WEST」を吸収合併し、社名を「DTS WEST」に変更
- ✓ 平成27年4月、「DTS」の組込み関連事業の一部を、「アートシステム」に承継（会社分割）し、組込み関連事業を「アートシステム」に集約
- ✓ 「総合システムサービス」の決算期変更（12月決算→3月決算）に伴い、平成27年1月から3月までの3ヵ月分を当期に連結

平成28年3月期 3Q累計 業績

前年同期比で、売上高112.2%及び営業利益127.5%を達成し、大幅な増収増益。営業利益率も+1.1pt増加。

(単位：百万円、%)	当期実績	売上比	前年同期比	
売上高	60,159	—	112.2%	+6,522
売上総利益	11,014	18.3%	118.2%	+1,692
販管費	5,461	9.1%	109.9%	+492
営業利益	5,553	9.2%	127.5%	+1,199
経常利益	5,646	9.4%	127.3%	+1,210
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,922	6.5%	160.2%	+1,473

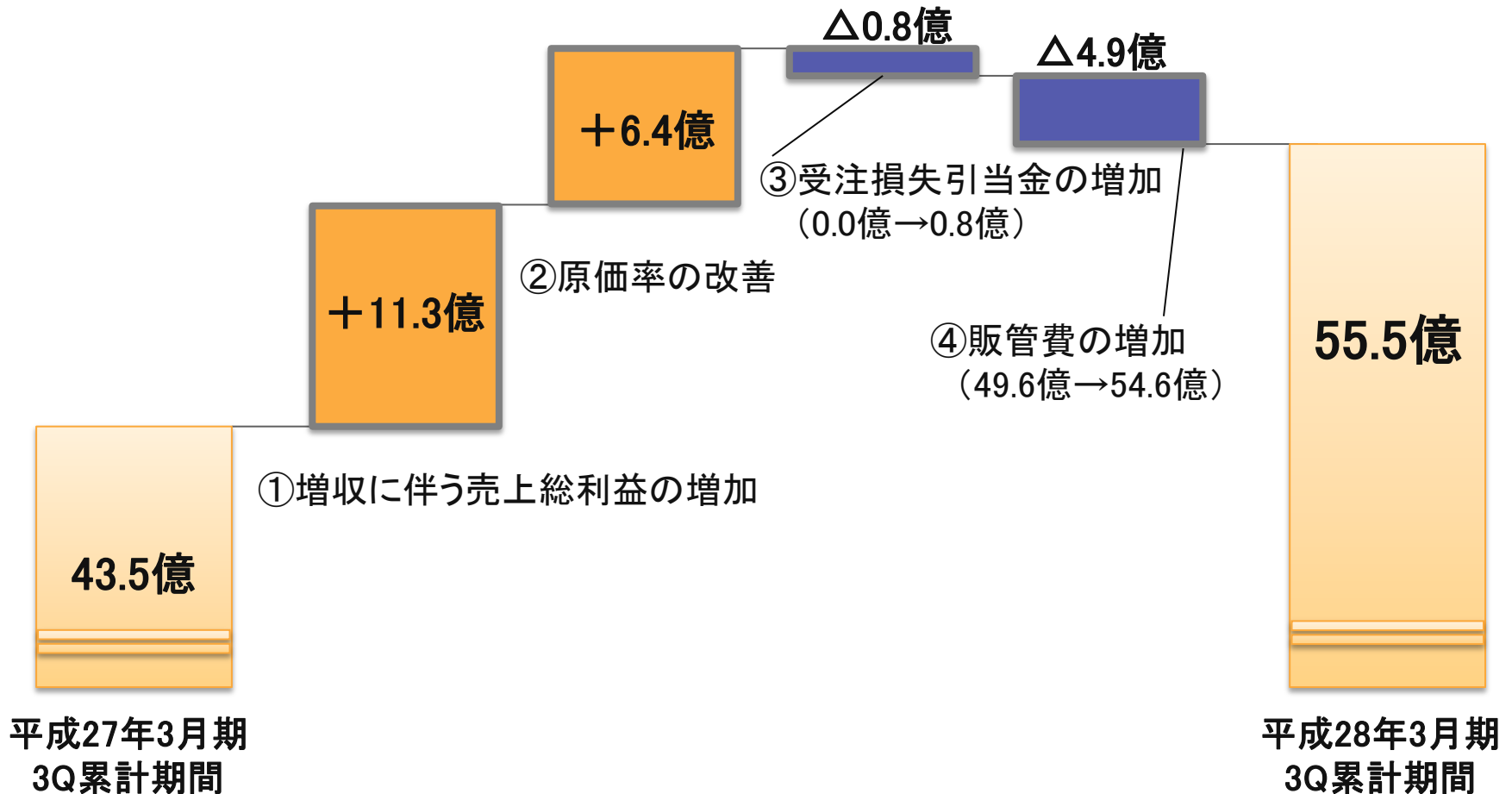
平成28年3月期 3Q累計 セグメント別売上高

システムは、金融分野を中心とした需要拡大により大幅な増加。
 プロダクトは、前期特需の反動等により減少。

(単位：百万円、%)	当期実績	売上比	前年同期比		主な増減要因
売上高	60,159	—	112.2%	+6,522	
情報サービス	57,697	95.9%	113.4%	+6,822	
システム	43,374	72.1%	121.6%	+7,708	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行、生命保険等の開発拡大 ・サービス、公共分野等の幅広い業種で好調に推移
オペレーション	9,971	16.6%	103.0%	+287	<ul style="list-style-type: none"> ・通信業をはじめ、幅広い顧客において案件規模拡大
プロダクト その他	4,351	7.2%	78.7%	△1,174	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット系企業の大型案件において需要減少
人材サービス	2,462	4.1%	89.2%	△299	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシングサービスやコールセンターサービスは堅調 ・人材派遣サービスは減少

平成28年3月期 3Q累計 営業利益の増減要因

増収や原価率の改善により営業利益は大幅に増加。
 販管費を活用し、今後の成長や変革に向けた戦略的投資を推進。



平成28年3月期 3Q累計 受注

受注高は、前期のプロダクト特需の反動により減少。
受注残高は、システムをはじめ全サービスで前年同期比より増加。

単位(百万円、%)	受注高				受注残高			
	当期実績	構成比	前年同期比		当期実績	構成比	前年同期比	
連結	46,299	—	97.3%	△1,264	16,432	—	101.6%	+264
情報サービス	44,636	96.4%	97.6%	△1,085	15,621	95.1%	101.3%	+202
システム	36,795	79.5%	100.8%	+295	12,704	77.3%	101.0%	+127
オペレーション	3,259	7.0%	89.9%	△364	2,563	15.6%	100.2%	+5
プロダクト その他	4,580	9.9%	81.8%	△1,017	353	2.2%	124.6%	+69
人材サービス	1,663	3.6%	90.3%	△178	811	4.9%	108.3%	+61

【単体】平成28年3月期 3Q累計業績

前年同期比で、売上116.1%及び営業利益123.4%を達成し、連結業績を大きく牽引。営業利益率も+0.6pt増加。

(単位：百万円、%)	当期実績	売上比	前年同期比	
売上高	41,221	—	116.1%	+5,709
売上総利益	7,622	18.5%	118.0%	+1,163
販管費	2,910	7.1%	110.2%	+269
営業利益	4,712	11.4%	123.4%	+893
経常利益	4,838	11.7%	122.8%	+898
四半期純利益	3,644	8.8%	98.7%	△47

【単体】平成28年3月期 3Q累計 セグメント別売上高

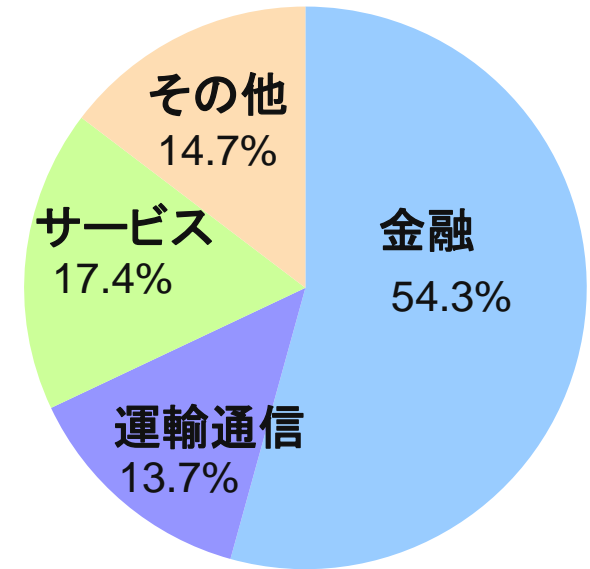
前年同期比で、システムは119.9%と大幅に増加、オペレーションは105.0%と堅調に推移。

(単位：百万円、%)	当期実績	売上比	前年同期比		主な増減要因
売上高	41,221	—	116.1%	+5,709	
情報サービス	41,221	—	116.1%	+5,709	
システム	32,048	77.7%	119.9%	+5,311	・銀行、生命保険等の開発拡大 ・サービス業、公共分野等 幅広い業種で好調に推移
オペレーション	8,311	20.2%	105.0%	+397	・通信業をはじめ、幅広い顧客において案件規模拡大
プロダクト その他	860	2.1%	100.0%	+0	
人材サービス	—	—	—	—	

【単体】平成28年3月期 3Q累計 エンユーザー別売上高

金融分野は、銀行や生命保険等の案件拡大により大幅に増加。
サービス、公共分野等の他業種も好調に推移。

(単位:百万円、%)	金額	構成比	前年同期比	
金融	21,913	54.3%	126.1%	+4,534
運輸・通信	5,524	13.7%	100.1%	+5
サービス	7,007	17.4%	114.4%	+884
その他	5,916	14.7%	105.0%	+283
うち製造	2,297	5.7%	93.4%	△161
うち公共	1,679	4.2%	128.4%	+371
うち卸小売	1,068	2.6%	121.5%	+188
システム+オペレーション	40,360	100.0%	116.5%	+5,708



- 金融** : 銀行の大規模システム統合等が拡大。生命保険の開発案件も増加
- 運輸・通信** : 通信は主要顧客の投資抑制の継続により減少するが、運輸は更改需要等で増加
- サービス** : 新規顧客獲得等により、好調に推移
- その他** : 公共は、年金一元化等により拡大。製造は、組込み事業のグループ会社へ4.0億移管したため実質的には2.4億の増加

(参考)平成28年3月期 3Q累計 グループ各社業績

社名	売上高			営業利益			
	金額	前年同期比		金額	売上比	前年同期比	
データリンクス	5,819	101.5%	+83	255	4.4%	123.3%	+48
デジタルテクノロジー	4,463	82.8%	△929	79	1.8%	116.6%	+11
日本SE	3,535	111.3%	+358	237	6.7%	199.5%	+118
横河デジタルコンピュータ	2,236	103.0%	+65	23	1.1%	150.8%	+7
DTS WEST*	1,779	164.5%	+697	37	2.1%	31.2%	△83
アートシステム*	1,695	269.6%	+1,066	223	13.2%	—	+212
九州DTS	1,498	149.7%	+497	180	12.0%	255.4%	+109
MIRUCA	316	95.9%	△13	26	8.5%	48.4%	△28
DTSアメリカ	239	251.8%	+144	50	20.9%	327.6%	+34
DTS上海	208	79.7%	△52	△2	—	—	△71
総合システムサービス ^(1~3月分)	549	—	—	71	13.0%	—	—

※各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

※*DTS WESTは、平成27年4月に総合システムサービスと合併しており、前年同期比は総合システムサービスとDTS WESTの単純合算値との比較です。また、アートシステムは、平成27年4月にDTSの組込み関連事業の一部を承継しました。

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益等の予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益等は、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。